

**MAIL MAGAZINE**

メールマガジン

# 福建省 石材工場の現状と湖南 623 続報！

## JSC 貿易部ニュース 中国編

さわやかな風が吹き渡る季節となりました。皆様、感染対策には万全を期され、健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、旧正月明けということで、福建省の石材工場の現状に関するお話を少し。

ここ数年、この時期になると日本市場縮小の煽りを受けた石材工場の転・廃業の噂が飛び交っていたのですが、今年は昨年までとはやや異なり静かな雰囲気です。

表は、仕入先からの情報を元に、貿易部で作成した日本向け墓石・外柵工場の 2020 年と 2021 年 4 月現在の対比でございます。

**福建省日本向け墓石・外柵工場2020年、2021年対比**

福建省地域	2020年工場件数	2021年工場件数	閉鎖工場件数
惠安崇武地区	75	72	3
石井地区	14	14	0
康美羅東地区	31	30	1
其他地区（同安漳州等）	17	17	(1社閉鎖の可能性有り)
合計	137	133	4

福建省石材組合の公式な発表ではございませんので、あくまで参考ということで留めおいて下さいませ。

昨年末の噂では、新型コロナウィルスの影響による注文の落ち込みもあり、旧正月明けには転・廃業を決断する工場が増えるのでは？ と言われていたのですが、結果的には確認できる転・廃業は 4 社のみと噂とは異なる結果に。

何故？ 日本市場の縮小ぶりからすると意外な感じがします。

理由として、ひとつには需給バランスが挙げられます。全体の注文量は増えてはいないのですが、特に白系石種の外柵を中心に生産する石井地区は、昨年までにかなり整理縮小が

進んでおり、需給バランスで見ると供給（生産力）より需要（日本からの注文）の方が多い状態になっています。旧正月明け以降、現在も石井地区の外柵工場は忙しい状態です。これまでとは売り手と買い手のバランスが変わってきています。

一方、崇武地区において転・廃業が少なかったのは、これまで品質維持のために日本向け専業にこだわっていた墓石工場の多くが、「二刀流」を選択し始めたことが影響しています。昨年以降、日本向けの墓石を生産しながら、同時に中国国内向けの墓石も生産するという工場が増えています。

工場で働く石職人は「出来高制」の人が多く、仕事が減ると収入に直接影響が出てきます。収入が落ちた石職人は、仕事のある他の工場に移るか、業界を辞めて転職してしまいます。そういったこともあります、経営継続の観点はもちろんのこと、離職防止の観点からも、多くの墓石工場が国内向けの注文も取り込むようになりました。

一般的に中国国内向けの墓石製品は、大量注文の割に加工が簡単です。同じ形の商品が大量に注文され、品質基準も低く、石質クレームも厳しくないので、日本向けより「利益率」が高いと言われています。

いま現在、崇武地区の工場では福建省内だけでなく、雲南省や江蘇省といった遠く離れた省のお墓も生産しています。



写真は、崇武地区の工場が生産している中国国内向け墓石です。日本向けと比べると、加工が簡単で品質要求も高くなない様子が分かります。

私たちに直結する問題は、現場が緩い品質基準に慣れてしまうと、日本向け墓石の品質にも必ずマイナスの影響がでるということ。

工場としては、代金回収の難しさが課題です。独特の商習慣から回収がスムーズにいかないケースもあり、簡単ではないようです。

本当は日本向けに専念して欲しいのですが、日本と同様に石材加工の従事者、後継者がどんどん少なくなっている中国工場の切実な事情もあります。日本からの注文は減っていますが、工場経営者としてはなんとか仕事をつくって経営は継続しなければならない。そして、石材加工から離れて行く人を減らさないといけません。そういう事で、日本の注文だ

けに頼らず、国内向けも取り込んで凌ぐという方向に経営の舵を切る工場が増えたのだと思思います。

しかし、今年の日本の発注量によっては、ますます中国国内や欧米向けに舵を切る工場が増えるかもしれません。そうならない為にも一日も早いコロナ終息と発注量の回復、これを望む次第でございます。

## 湖南 623、続報！！

さて、2月号のメルマガでご提案させて頂きました「湖南 623」。生産開始から約3ヶ月が経ちました。好評をいただき全国の石材店様から多くの注文を頂戴しております。



こちら、同じく「湖南 623」の洋型墓石です。

「G688」にも似ているので外柵だけでなく、墓石として使用しても綺麗です。

本当に「感謝」！ありがとう！でございます  
^-^

まだご利用のない皆様にも、この場をお借りして「湖南 623」をご提案致します！

写真は「湖南 623」の外柵です。やはり外柵材としてのご利用が多いのですが、ご覧ください。



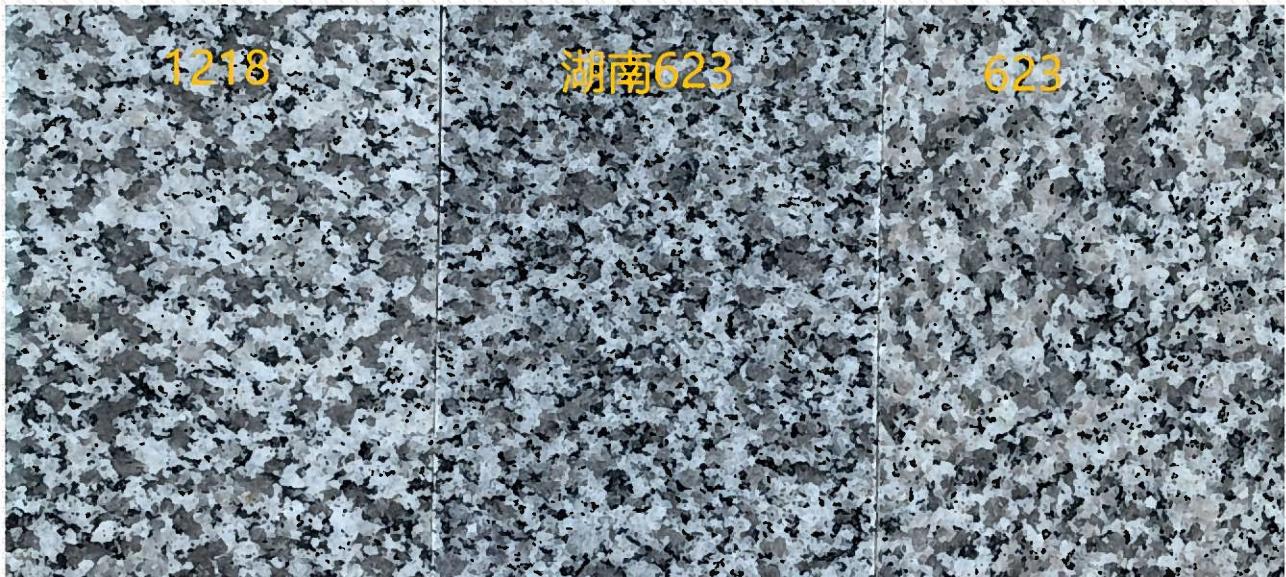
## 「湖南 623」のご利用メリットは主に三つ！

ひとつには、価格面。これまで圧倒的な実績を誇ってきた「G623」が大きく値上がりした

中、「湖南 623」の安さは魅力です。この「湖南 623」、墓石にしても見栄えが良いので、他の白系の低～中価格帯の石と比較しても魅力的です。

ふたつ目は、有力なライバル石種「1218」（新 623）の事情が大きく影響しています。

「G623」欠品以降、多くの工場が外柵用の主力石種としていた「G1218」（別名：新 623、漳浦 623）の在庫が心許ない状況です。簡単に言うと在庫が無くななりつつあります。工場によってはムラなど石質不良の在庫しか残っていないといったところも多く、在庫が底をついた工場も出始めています。



写真はサンプル比較。左から「1218」、真ん中が「湖南 623」、右が従来の「G623」です。



三つ目は、丁場の継続性と豊富な在庫量です。従来の「G623」、そして「1218」（新 623）の丁場が閉鎖して、今後再び採掘されることがないのに対して、「湖南 623」は現在も採掘を続けており、安定して原石を供給することが可能です。

最近の「1218」のように、折角のお問い合わせに対して、「すみません。原石がありません」というようなお話をございません。

写真は 2021 年 4 月の最新の丁場写真です。現在もどんどん採掘しております。

以上、①価格競争力、②ライバル石種の不安定な状況、③丁場の継続性と安定性の三点から、この「湖南 623」、ご提案させて頂きます！！

なお、もうひとつの注目石種「吉林白」に関しましても、同様のメリットを持ち合わせていますので、合せてご紹介しておきます。

「吉林白」は、”吉林 603”と呼ばれる事からもわかるように、「G603」に近い白さです。  
「湖南 623」は「G688」に近いグレーがかった色合いなので、いずれを扱うかは地域性や  
お好みになるかと思います。

北の「吉林白」(吉林 603) と南の「湖南 623」

いずれにしましても、「G623」欠品後の外柵市場は、この 2 石種が有力候補と予想しております。

「湖南 623」サンプルをご覧になりたいという石材店様、ご用命は当社営業員にお気軽に  
お申し付け下さい。よろしくお願ひ致します！

それでは、今月も最後まで読んで頂き有難うございます。

先を見通しづらい状況ではございますが、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

2021/05/01